



あつまる つながる まとまる 大いなる田園のまち あつま

広報あつま

ATSUMA TOWN PUBLIC RELATIONS

2026

1

NO.881



ＺＥＨ仕様で環境と健康に
配慮した5棟の子育て支援住宅



表町から道道千歳鶴川線へ抜ける
表町バイパス線が供用開始



厚真町防災倉庫が完成
約16万点の備品を備蓄



2025年の厚真を振り返る

皆さんはどんな1年でしたか？

- 12月11日 令和7年町議会第4回定例会（～12日）
- 11月1日 厚真町文化祭ウィーク2025（～10日）
- 10月16日 地域活性化起業人1人に委嘱状を交付
- 10月14日 株式会社アークに善行賞贈呈
- 9月18日 令和7年町議会第3回定例会（～19日）
- 9月17日 大垣尊良さんに栄誉賞贈呈
- 9月6日 令和7年北海道胆振東部地震厚真町追悼式
- 8月22日 厚真町戦没者追悼式
- 8月9日 町民グループ「あつまランニングパトロール隊」始動
- 8月2日 NS A公認サーフィン大会 第5回厚真町長杯（～3日）
- 7月12日 浜厚真ビーチサイドフェスタ2025を初開催（～13日）
- 7月10日 S・ONEさわかみ北海道プロ「開催」（～13日）
- 7月4日 国内最高峰のプロサーフィンツアー
- 6月28日 副業型地域活性化起業人1人に委嘱状を交付
- 6月20日 地域おこし協力隊1人に委嘱状を交付
- 6月16日 令和7年町議会第2回定例会（～17日）
- 5月17日 幌内地区で「あつま町の植樹会」
- 5月16日 エア・ウオーター北海道・産業ガス株式会社に善行賞贈呈
- 5月1日 地域おこし協力隊と地域活性化起業人の2人に委嘱状を交付
- 4月20日 厚真町防災備蓄倉庫の内覧会
- 4月8日 地域活性化起業人6人に委嘱状を交付
- 4月1日 地域おこし協力隊7人に委嘱状を交付
- 4月1日 町道表町バイパス線が供用開始
- 3月19日 上厚真エコタウンにＺＥＨ仕様の子育て支援住宅が完成
- 3月6日 地域おこし協力隊・地域活性化起業人活動報告会
- 3月4日 令和7年町議会第1回定例会（～12日）
- 2月1日 第26回スターフェスタ2025 in あつま・第25回ランタン祭り
- 1月26日 第18回あつま国際雪上3本引き大会
- 1月21日 地域活性化起業人1人に委嘱状を交付
- 1月12日 第3回厚真町二十歳のつどい

防犯と環境美化に貢献する
あつまランニングパトロール隊



町民37人で288本の広葉樹を
植樹した「あつま町の植樹会」



北海道で初めてのプロサーフィン
ツアー「さわかみ北海道プロ」



広報あつま

ATSUMA TOWN PUBLIC RELATIONS

2026

1

NO.881

ひとのうごき

人 □ 4,215人（-4）
男 2,149人 女 2,066人

世帯数 2,120世帯（-3）

12月12日現在 （ ）内は前月比

12月1日～12月12日届出分

※窓口などで、広報紙への掲載について確認できた方を掲載しています。

厚真町公式SNS



お知らせや最新情報を発信しています！

広報あつまはインターネットでも！



厚真町ホームページ

トップページ下部のバナーから

広報あつま

Hokkaido ebooks

エリアで探す→胆振→厚真町



COVER

今月の表紙



新雪で覆われた厚真町郊外の森に、チェーンソーの音に交じって「アップ」「待て」の掛け声が響きました。厚真ならではの「馬搬」です。栗毛のカップとあし毛のウクルが、作業を続けていました。「前に進む象徴」として縁起物と言われる馬。干支にあやかり「厚真の繁栄」を願いました。



復興を礎に創生の道へ、丙午の躍動の年に

厚真町議会議長 渡部 孝樹

平成30年の北海道胆振東部地震において、本町は未曾有の被害を受けました。犠牲となられた方々に深く哀悼の意を表しますとともに、復旧、復興にご尽力くださった多くの方々に心から感謝申し上げます。あの日から今日まで、町民の皆さまは困難に立ち向かいながら、暮らしの再建や地域の復興にむけたゆめめ努力を続けてこ

てまいりました。令和8年の幕開けを迎えられることを心より喜び申し上げます。平素より町政ならびに議会運営に対し、温かいご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。本年は「丙午」にあたります。十干の「丙」は、明るさが広がり、物事が形となって動き出すことを象徴するとされ、十二支の「午」は力強い前進を示すと言われております。「丙午」の年は、これまで積み重ねてきた歩みが実を結び、新たな展開が拓かれる節目の年とされています。震災からの復旧、復興を着実に進めてきた本町が、オール厚真の力を結集し、未来へと大きく飛躍を象徴する一年となることを願っています。

られました。町としても、住まいの整備や荒廃した森林の再生、宅地の耐震化対策など、防災と安全確保を町づくりの基盤として進めてきました。加えて、道路の復旧、改良、河川の治水、治山対策、公共施設の整備など、町の将来を見据えた基盤づくりも着実に前進しています。これらの取り組みは、今後の厚真町を支える新たな土台を築く重要な歩みです。本年は、こうした基盤整備がさらに形となる節目の年でもあります。まず、新消防庁舎が4月より供用開始となり、地域の防災、減災体制が一段と強化されます。また、町の中心的な行政機能を担う新庁舎の本格着工が始まる予定であり、住民サービスの向上、防災拠点としての機能強化、そして将来を見据えた行政体制の確立に向けて、大きな一歩を踏み出すこととなります。同時に併設される文化交流施設は、住民の学びや交流を育む拠点として、地域の活力向上にも寄与するものとなります。また、産業面においては、農業、林業、漁業、そして商工業の皆さまのご尽力により、本町の地域経済は日々支えられております。地域の力を生かし、持続的な産業振興につながる取り組みを進めてま

います。地域の特色を生かした新たな価値の創出にも力を注ぎ、次代につながる産業の姿とともに築いてまいります。医療、福祉の分野は、高齢化が進む本町においても町民の安心・安全な生活を支える重要な領域です。医療機関や福祉サービスの充実、在宅医療や介護体制の強化、障がいのある方や子育て世代への支援など、町民の暮らしを支える体制の充実をさらに進めてまいります。議会は現在、議員任期満了まで一年余りの節目を迎えており、これまで積み重ねて議論してきた数多くの課題や政策を見つめ直し、将来の厚真町にとって何が必要であるかを多角的に検証する大切な時期でもあります。残された期間は、これまでの検討課題を丁寧に整理し、町の将来を見据えた議論をさらに深める重要な時期と受け止めており、議会に求められる役割、使命は、町民生活の向上と地域の持続的発展に資する議論を着実に進めることであり、その責務を改めて胸に刻みながら、残された期間も誠実に議会活動に取り組んでまいります。国政に目を向けますと、憲政史上初の女性総理大臣が誕生すると

いう、新たな時代を迎えました。社会の多様性が一層広がる大きな転機となる出来事でありますが、その就任は、国民の意識や社会の価値観の変化を映し出すものであり、政治の在り方が新たな段階へ進む契機とも受け止めております。地方議会としては、示される政策の内容を冷静に見極め、地域の実情に即した判断のもと、町民生活に適切に結びつけていく姿勢が極めて重要となります。「丙午」の年が象徴する、明るさ、躍動、前進の気運を胸に、復興で築いた礎の上に、創生へと確かな一歩を踏み出す一年といたします。町民の皆さまの知恵と力が結集し、厚真町の未来がさらに輝くことを心より願っております。結びに、町民の皆さまのご健勝とご多幸、厚真町の更なる発展を祈念し年頭のごあいさついたします。

○公職選挙法の規定により、議員から町民の皆さまへの年賀状は失礼させていただきます。



将来像を共有しながら歩みを進める一年に

厚真町長 宮坂 尚市朗

新年明けましておめでとございます。令和8年の輝かしい新春を迎えるにあたり、町民の皆さまに謹んでごあいさつ申し上げます。旧年中は町政諸般にわたり格別のご理解とご協力を賜りまして、心より感謝申し上げます。平成30年北海道胆振東部地震の発災から年月を重ねても、犠牲となられた方々への痛悼の念は片時も薄れることはありません。あらためてご冥福をお祈り申し上げますとともに、当時から今日に至るまで支えてくださったご遺族、関係機関、ボランティア、そして全国の皆さまの温かなご支援に深く敬意と感謝を表します。私たちは「震災に埋もれた悲しいまちで終わらせない」という固い決意を胸に、一歩ずつ復興の道を歩んでまいりました。皆さまのご理解ご協力により、国や北海道が主体となって進められた大規模な砂防事業、かんがい排水事業は完了、治山事業は来年度に完了する見通しで、生活空間と生産基盤の安全は大きく向上しました。厚真川左岸線の複線化やハビウ川の減災対策への着手、宅地耐震化推進事業も予定通りに進捗していま

す。歴史上類を見ない規模で被災した森林の再生も、来年度までを集中期間と位置づけ、未来を見据えた時間軸で着実に歩みを進めています。被災森林の再生は長い時間軸の取り組みですが、被害木整理・植林・路網整備に加えて、視察の受け入れ・植樹会など「記憶のバトン」としての取り組みを継続し、関係人口の拡大や次世代へのアプローチを図ってまいります。また、復旧にとどまらず「事前復興・創造的復興」に関する諸計画を策定し、より強靱なまちづくりを目指してまいります。公共施設群の再編整備や日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震を想定した緊急避難施設の設定、浸水深や生業、家族構成に応じた個別具体的な避難計画など、関係機関のご協力のもと命を守るための対策を丁寧に実装してまいります。地震・津波に限らず頻発化・激甚化する自然災害の種別に応じた情報伝達と避難行動の最適化など、地域防災力も住民の皆さまと学びながら生活空間・生産空間の区別なく盤石なものへと向上させてまいります。厚真町が属する千歳・苫小牧地域は北海道経済を牽引する地方拠点地域として国内外から注目され、近未来がダイナミックに変貌

を遂げる可能性が高まっています。北海道の強みである「食」と「観光」に加え、当該エリアにはGX、DXや次世代半導体製造など先端技術産業の集積が始まっています。本町では、北海道電力との包括連携協定のもと、公共施設のZEB化、再生可能エネルギーの公共利用に欠かせないノンファーム型連携、戸建て住宅のZEH化、ゼロ・カーボン・ビレッジの形成など、再生可能エネルギーの地産地消が深化しています。自らエネルギーを賄い、災害時も機能するレジリエントなライフラインは、被災地だからこそ描ける希望であり、未来への確かな投資でもあります。今を好機と捉えて、二地域居住をはじめとする多拠点ライフの受け皿づくり、地域産業の担い手確保と後継者育成、教育と就労・定住を結び好循環の創出、分野別IoT・Society5.0・DXの取り込みによる生産性向上と暮らしの質の両立を図り、産・官・学・民と地域がともに担う「協働の設計図」のもとで、挑戦が報われ、暮らしに安心をもたらすまちづくりを進めてまいります。既に取り組みを始めている地域福祉サービスのプラットフォームの再構築は、民間の創意と地域の相互扶助を生

かした包摂的な仕組みへと整えてまいります。町民ファーストでありながら寛容と教養を育み、支え合いの輪を広げ、「厚真を選び、厚真で暮らす幸せを実感し続けられるまち」の一幕です。私たちの歩みは、歴史に学び、科学に学び、そして人に学ぶ営みです。全国の災害の教訓を、語り継ぐ物語にとどめず、見えにくいリスクを可視化し、日常に減災の知識と備えが根づく文化を育むことが、復興の先にある真の強靱化に繋がると考えています。本年は、令和8年度以降を展望する第5次厚真町総合計画がスタートします。「誰一人として取り残さない」を合言葉に、100年先も安心して暮らし続けられる厚真町を目指し、ウェルビーイングな目標を一つ一つ実現してまいります。本年は十干十二支で「丙午」の年。丙は陽の火が勢いを増し、午は頂点で転じる節目を象徴すると言われます。フロンティア精神を引き継ぐ私たちにとって、継続を力に挑戦の意欲を掻き立て、投資から成長の果実に変える一年となりますこと、そして、町民一人おひとりのご健勝とご多幸を祈念し、年頭のごあいさついたします。

空き家相談会

建設課 都市施設グループ ☎ 27-2325

空き家の活用や処分、適正管理を支援するため、空き家相談会を開催します。

内 容

町内の空き家・空き建物に関する町の各種助成制度・相談・登記・税・売却・解体・建物検査など、幅広いご相談にお答えします。

※詳細はホームページまたは広報あつま 1 月号の折込チラシをご覧ください。

対 象

町内に所在する住宅の所有者・納税義務者、世帯主や法定相続人など、現在または将来にわたって、住宅の活用または処分の権限を有する方

日 時

2月14日(土)10時～16時

場 所

総合福祉センター
※オンライン会場、札幌会場も開設します。

申し込み

1月9日(金)までに申し込みフォームから申し込んでください

※本事業は町が(株)シー・アイ・エス計画研究所に委託をしています。



申し込みフォーム

農業者年金巡回相談会

農業委員会事務局 ☎ 27-2409

厚真町農業者年金協議会では、農業者年金巡回相談会を開催します。

内 容

J A 北海道中央会より農業者年金派遣相談員を講師に迎え、農業者年金の受給見込額の試算や経営継承時の特例付加年金を受給する方法、注意点など、個別の状況に応じて丁寧に説明します。また、希望者には個別相談も行いますので、ぜひご参加ください。

対 象

農業者年金待機者等
(旧制度、新制度年金受給予定者等)

日 時

1月19日(月)13時30分から

場 所

総合福祉センター 2 階青年室

申し込み

1月9日(金)までに農業委員会事務局にお申し込みください。

水道凍結にご注意ください

建設課 上下水道グループ ☎ 27-2326

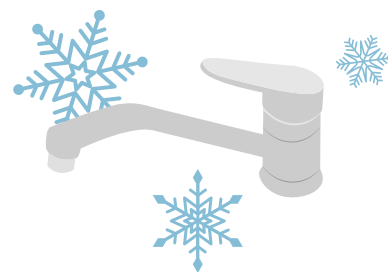
水道が凍結しないように天候に合わせて対策を行いましょう。

寒い季節が到来しました。ニュースや天気予報などをチェックし、低温の予報が出たときは水道の水抜きを行うようにして凍結には十分注意しましょう。

一度凍結させてしまうと、水が出なくて不便だけでなく、修理に多大な費用がかかる場合があります。

厳寒期は、夜間だけではなく昼間も凍る場合がありますので油断しないようにしましょう。

水抜き栓は、複数力所あったり目立たない所にあります。場所や動作状態を確認するようにしましょう。



償却資産は申告が必要です

償却資産は所有者による毎年の申告が法律によって義務付けられています。

償却資産の申告について

固定資産税は、土地、家屋、償却資産に課税されます。土地や家屋には登記制度があり、課税対象を把握することができますが、償却資産には登記制度がないため、所有者による毎年の申告が法律によって義務付けられています。

償却資産とは

事業のために所有している土地・家屋以外の資産(構築物、機械・装置、船舶、航空機、車両・運搬具、工具・器具、備品など)
[例] 太陽光発電設備、パソコン、ビニールハウス、ブームスプレーヤー、畔塗機
※軽自動車税の対象になるものは、償却資産の課税対象ではありません。

対象者

令和8年1月1日時点で町内に事業のために所有する償却資産を所有している個人・法人
※確定申告とは別に申告してください。
※正当な理由がなく申告しないときは過料が科される場合があります。

申告期限

2月2日(月)

申告先

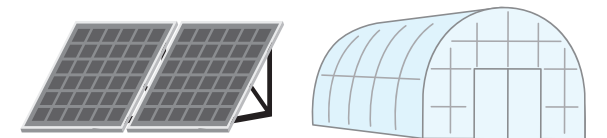
住民課税務グループまたは上厚真支所

申告書類

前年度に申告した人や新規に事業を開始した人などには12月中に申告書類を送付しています。お手元に届かない場合や新たに申告書類が必要な場合、住民課税務グループにお問い合わせいただくか、町ホームページからダウンロードしてください。



町ホームページ



放課後児童クラブ(学童保育)・放課後子ども教室 令和8年度利用者登録

生涯学習課 社会教育グループ
(青少年センター内) ☎ 27-2495

放課後児童クラブ(学童保育)と放課後子ども教室の令和8年度利用者登録を開始します。

放課後児童クラブ

・開設期間

小 学 校 の 授 業 日	下校時～18時30分
土曜日・学校休業日	8時30分～18時30分

※日曜日、祝日、12月30日～1月4日を除く



詳しくはこちら

・実費負担金 1人1カ月あたり600円

放課後子ども教室

・実施日

厚 真 中 央 小 学 校	低 学 年 … 木 曜 日
	高 学 年 … 金 曜 日
上 厚 真 小 学 校	低 学 年 … 月 曜 日
	高 学 年 … 水 曜 日

※火曜日は予備日



詳しくはこちら

・参加費 無料

対 象

小学校1～6年生

※令和7年度に登録しているお子さんも申し込みが必要です。

募集期間

1月30日(金)まで

申し込み先

教育委員会 生涯学習課社会教育グループ
上厚真支所、各放課後児童クラブ

提出書類

①登録申請書 ②個人票

各書類は各小学校を通じて配布するほか、各児童クラブにもあります。町ホームページからもダウンロードできます。新入学児童は、こども園または郵送により配布します。

上厚真自主防災組織が コミュニティタイムライン策定

上厚真自治会自主防災組織は、今年5月から10月までコミュニティタイムラインを策定する4回のワークショップを開きました。1回目は防災計画の必要性や水害の危険性を学習、2回目に上厚真地区の水害リスクや避難先を検討、3回目で誰が・いつ・何をやるのかなどルールづくり、4回目は避難行動要支援者（単独での避難が難しい方など）の避難について検討し、地域の防災力を高めました。



令和7年度厚真町防災図上訓練

11月15日(土)に令和7年度厚真町防災図上訓練を実施しました。北海道や環境防災総合政策研究機構の支援を受け、消防署厚真支署・札幌方面苫小牧警察署・室蘭海上保安部苫小牧海上保安署・陸上自衛隊第7特科連隊第1特科大隊とともに、遠地津波を想定しました。

訓練は8時30分に開始し、遠地津波（震央から約600km以遠の国外で発生した地震に伴う津波）による大津波警報が発表されたという想定で行われました。役場職員71人が、北海道の防災システムなどを活用して情報収集・分析などを行い、避難者への対応、ドローンによる偵察など多岐にわたり訓練しました。町は今後も各種訓練を通じて災害対応を強化します。



Jアラート 全国一斉情報伝達試験

2月6日 金 11時ごろ

地震・津波や武力攻撃などの発生時に備え、次のとおり情報伝達試験を行います。

本試験において防災行政無線が雑音等により、聞き取れないなど不具合がありましたら、総務課情報防災グループまでお問い合わせください。

問い合わせ 総務課 情報防災グループ ☎27-2481

Jアラートの自動起動機を使用して防災行政無線と屋外拡声器から放送される標準メッセージは次のとおりです。
（上りチャイム音♪）
「これは、Jアラートのテストです」×3回
「こちらは、ぼうさいあつまです」
（下りチャイム音♪）



※携帯電話やスマートフォンなどへの伝達はありません。

※災害等の発生により、試験を中止した場合の予備日は2月20日（金）の11時ごろです。

住宅用火災警報器を設置しましょう

住宅用火災警報器の設置は、消防法で義務づけられています。町内の設置率は10月末時点で全世帯数の93.0％です。胆振東部消防組合消防署厚真支署は、未設置の住宅への普及・促進の取り組みとして、厚真町に居住する65歳以上のみの世帯を対象に、住宅用火災警報器取付費用給付事業を実施しています。

問い合わせ 胆振東部消防組合消防署厚真支署 ☎26-7119

地震はいつどこで起こるか分かりません。被害を軽減するためには、住宅の耐震化や家具等の転倒防止などが極めて有効です。特にストーブや暖房器具を使うこの時期は、自身の命を守るための備えが大切です！

○自宅の建築年度を確認しましょう▶自宅が昭和56年5月以前に建築されている場合は、耐震診断を受けることをお勧めします。役場に相談しましょう。

○家具等の転倒防止対策▶家具・家電メーカー、ホームセンター等で販売されている転倒防止用品を活用しましょう。



厚真高校3年生の探求学習成果発表会

厚真高校3年生の探求学習成果発表会が11月21日に体育館で開かれ、生徒たちはテーマに沿って発表しました。

探求学習は、生徒の主体性を育み、高校の魅力化を図る取り組みです。3年生の8グループ1個人は、職場体験での経験や特産品の開発とPR、福祉など、さまざまな分野からテーマを決めて仮説を立て、アンケート調査や職場に出かけて改善策など模索・検証しました。在校生も積極的に質問を投げかけ、会話のキャッチボールを通じて学習意欲を高めました。



積極的な質疑が寄せられた探求学習成果発表会

むし歯のない子どもの表彰式開催

むし歯のない子どもの表彰式が11月、厚南会館と総合ケアセンターゆくりで開かれ、今年度4歳になる対象児30人のうち健康歯に認定された23人が賞状と記念品を受け取りました。

表彰式は、上厚真地区が11月14日に厚南会館で、厚真市街地地区が同28日に総合ケアセンターで行われました。賞状は、住民課健康推進グループ職員手作りで、子どもの写真が貼付されています。名前を呼ばれた子どもたちは、照れながら返事をして賞状と記念品を受け取りました。住民課の宮本幸世参事は「□の中を健康に保つことは、感染症の予防につながりとても大切です。今後も歯磨きを続けてください」と呼びかけました。



賞状と記念品を受け取る子ども

歳末助け合いチャリティー即売会（町コミュニティ運動推進協議会が主催）と第45回歳末助け合いチャリティー演芸大会（町婦人団体協議会主催）が12月1日、総合福祉センターで開かれ、両会場とも大勢の町民でにぎわいました。

即売会で展示・販売されたのは、町民の善意で寄せられた衣類や運動用品、食器などで、特にセーターなどの冬物衣料が人気を集めました。破格値とあって、まとめ買いする人も多く、「物価高騰が続く中で“財布に優しい”買い物ができました」と話す人もいました。

また、演芸大会には、25団体が出演。バラエティーに富んだステージで盛り上がりました。イベントの収益金は、厚真町社会福祉協議会に寄付されました。

歳末たすけあいチャリティー即売会と 演芸大会にぎわう



衣類などを買い求める町民の皆さん

地域おこし協力隊

厚真町で活動している地域おこし協力隊をご紹介します！

現在活動している協力隊〈12月末現在〉

農業▷8人 教育魅力化▷2人 観光▷1人
起業型▷9人 協働型▷4人 スポーツ▷1人

農業支援員

みやざわ たかのり
宮澤 孝典さん

着任：令和7年4月（1年目）
出身：愛知県



—これまでの経歴について教えてください。

小学生から高校まで競技スキーに打ち込み、冬には遠征で北海道を訪れていたのが北海道は身近な存在でした。大学卒業後は商社に就職し、公共工事等の資材を扱う営業職として4年間勤務しました。社会人としての基礎を身につけるために選んだ仕事でしたが、体を動かすのが好きで農業をやってみたいという思いもあり、スキーを通じて出会っていた北海道の農家の姿が心に浮かんでいました。農業に挑戦したいという気持ちを確かめるため、まずは経験を積もうと千歳市の農業法人へ転職しました。大根やネギ、ブロッコリーなどさまざまな作物を育てた3年が大変楽しく、就農への思いを強くしました。

—就農先に厚真町を選んだ理由は？

独立して農家になるにあたり、何を育てるか、どこで始めるかは大きな選択肢です。就農先として厚真町を選んだ理由は、ハウレンソウとの出会いでした。初期投資が抑えられること、作業工程が自分に合っていると感じ

たことが決め手でした。就農フェアで厚真町を知り、話を聞いたら『ここだ！』と直感しました。妻が江別市出身というのも大きかったと思います。加えて新千歳空港が近く、愛知の実家とも行き来しやすいことも大きなポイントでした。

—現在はどんな活動をしていますか？

日々、町内の研修農場や先輩農家に教わりながら、ハウレンソウを中心に栽培技術を学んでいます。現場で実践しながら技術を磨き、農家としての基盤づくりを進めています。また、同世代の農業者とのつながりも増えてきました。近くに頼れる仲間がいるのは、本当に心強いです。

—今後の目標は？どんな農家になりたいですか？

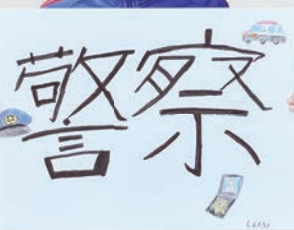
来春には、第一子が誕生する予定です。安定して栽培を続けられる技術を身につけ、家族と安心して暮らせる農業を確立することです。そのうえで、将来的には規模拡大にもチャレンジしたいです。大きなトラクターを操り、広い畑でハウレンソウを中心とした作物を育てることが夢です。北海道だからこそできる農業の姿を描きながら、一步一步前へ進んでいきます。

厚真町は、町民や移住を考えている人などのチャレンジをみんなで応援していただけるまちを目指します。「厚真町チャレンジ応援通信」は、さまざまなチャレンジの情報を発信していきます。

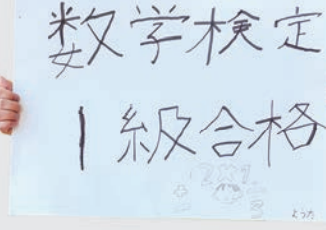


発表します！ 将来の夢

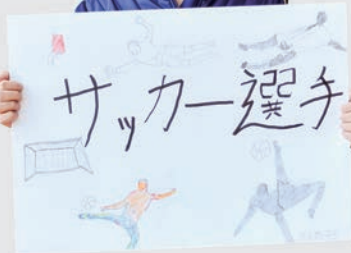
厚真中央小学校6年



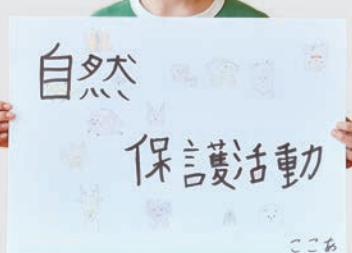
しんたろうさん



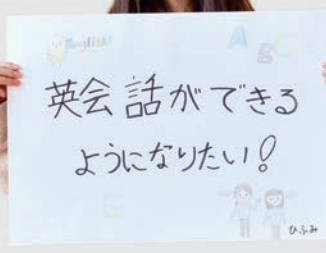
ようたさん



さくたろうさん



ここあさん



ひふみさん



厚高インフォ

Vol.313

学校の取り組みは
ホームページでも！



■福祉手話講習（11月12日）

被服室で、3年生の福祉手話講習を行いました。町内在住の土居先生と和田先生を講師に招き、生徒たちはデフレピックや福祉の大切さを学びました。手話は、1年生から続けているため、生徒たちは表情豊かに手話を使って自分の名前や話題を講師に伝え、意思疎通を図りました。福祉の大切さを学ぶ素晴らしい時間です。今後も継続します。



■町教委合同道外視察研修（11月12日～14日）

町教育委員会の協力で、愛媛県上島の県立弓削（ゆげ）高校で視察研修を実施しました。本校からは、伊勢教諭が参加しました。同校は、高校魅力化プロジェクトの先進地で、公営塾の運営方法や役場・高校・公営塾等の連携体制、学年を超えた公営塾でのゼミやイベントなどのノウハウを学びました。

研修を生かし、今後の高校生活魅力化プロジェクトの推進や学校運営に役立てます。

■学校運営協議会（11月21日）

第2回学校運営協議会を開きました。三國和江会長が「日ごろから厚真高校が頑張っている姿をみて、私を含め町民として今後もバックアップしていきます。会議後に生徒の活動が参観できることを楽しみにしています」とあいさつ。事務局が活動報告や今後の予定を説明し、体育館で行われた3年生の探究成果発表会を参観しました。

■探究学習成果発表会（11月21日）

3年生の探究成果発表会を開きました。在校生や厚真町、町教委、学校運営協議会委員が見守るなか、生徒23人が9グループ・個人で成果を披露しました。発表後は、在校生たちから質問が出され、発表者は今後の課題など問題解決策などについて補足説明を加えました。佐藤校長は「期待以上の発表でした。人前で真剣に真面目に話す機会、大きな経験となつて社会に出てから必ず役立ちます。探究活動はたくさんの方で実践していますが、校内で完結していることが多く、校外での探究学習の多さに感じています。町民の皆さんとも連携した活動で、交流などを通じた皆さんの探究活動は、自分の資質能力を高める機会となりまして」と生徒をたたえました。



よりみち通信



「よりみち学舎」は厚真高校と地域が連携しながら放課後を利用して生徒が自ら目標を発見し挑戦する公営塾です。

誰かを喜ばせたい

厚真高校が、11月5日から7日に行った2年生の職場体験実習に同行しました。当初、3日間の活動を通して「言われたことを粛々とやる」のではないかと考えていましたが、「誰かを喜ばせたいという気持ちをアイディアにして実行すること」に挑戦しているように感じました。目的意識の高さに心を動かされた実習でした。

日常生活の中に隠れている課題を探し、仮説を立て、解決策を探るという「総合的な探究学習の一環」です。特産品開発を意識して新しいフレーバーを考案したり、店内情報に工夫を凝らしたり、作品のプレゼンテーションを組み立てるなど、グループごとに知恵を絞っています。創意工夫に富んだ今後の活動に期待を寄せています。


探究学習の成果は、3年生で発表します。今年は、11月21日に行われました。全校生のほか、地域の方なども同席し、9グループが発表しました。職場体験に基づく自動車整備の困りごと、映像を使ったボランティアの魅力発信、厚真の食材を使った料理でまちをPR、福祉分野のヘルプマークの普及など、テーマは多岐にわたり、共感を呼びました。

共通するのは「誰かを喜ばせたい」こと。厚高生のピュアな心は、経験を積み重ねながら人との交流を通じて成長を続けています。教育魅力化支援員の一人として、改めて生徒に寄り添い、一緒に成長を促します。教育魅力化支援員 山中恵杜





こどもの予防接種

接 種 日	未 就 学 児	水 曜 日	14時～15時 (この時間は一般診療休み)	予防接種 専用サイト 
	小 学 生 ～19 歳	月・金 曜 日	9時～12時、14時～17時	
		水 曜 日	9時～12時、15時～17時	
予 約 / 受 付 接 種 場 所	あつまクリニック ☎ 27-2422 京町15 前の週の金曜日までに予約が必要です (予約受付時間: 9時～12時、15時～17時)			
持 ち 物	母子健康手帳、予診票			

予約時は、予防接種専用サイトで接種対象であるかどうかを確認してください。専用サイトと母子健康手帳の接種履歴に相違がある場合などは、住民課健康推進グループ (保健師) までご連絡ください。

	対象者	標準的な接種期間と回数
ロタウイルス (1価)	生後6～24週未満	27日以上あけて2回 ※1回目は14週6日までに接種
B型肝炎	生後2カ月～1歳未満	(初回) 27日以上あけて2回 (追加) 1回目終了後から20週以上あけて1回
ヒブ (※1)	生後2～60カ月未満	(初回) 生後2～7カ月未満 (27日以上あけて3回) (追加) 初回後7～13カ月あけて1回
小児肺炎球菌	生後2～60カ月未満	(初回) 生後2～7カ月未満 (27日以上あけて3回) (追加) 生後12～15カ月未満 (初回後60日以上あけて1回)
五種混合 (ジフテリア・破傷風・百日咳・ポリオ・ヒブ)	生後2～90カ月未満	(初回) 生後2～7カ月未満に、20～56日あけて3回 (追加) 初回6～18カ月あけて1回
二種混合 (ジフテリア・破傷風)	11～13歳未満	11歳で1回
BCG	生後5カ月～1歳未満	生後5～8カ月未満に1回
MR混合 (麻しん・風しん)	(1期) 生後12～24カ月まで (2期) 年長児相当 (就学前の1年間)	1期、2期ともに1回
水痘 (水ぼうそう)	生後12～36カ月未満 ※すでに罹患済みの場合は対象外	(初回) 生後12～15カ月未満に1回 (追加) 初回後6～12カ月あけて1回
おたふくかぜ (任意)	1歳以上 ※すでに罹患済みの場合は対象外	1歳以上で1～2回 ※町独自の助成により1～3歳までの初回1回のみ無料
日本脳炎	(1期) 生後6カ月～7歳6カ月未満 (2期) 9～13歳未満 ※特別対象者は20歳未満まで接種可	(1期初回) 3歳: 6～28日あけて2回 (1期追加) 4歳: 1期初回終了後約1年あけて1回 (2期) 9歳: 1回
HPV (ヒトパピローマウイルス) (9価)	小学校6年生～高校1年生相当の女子	中学1年生 (6カ月あけて2回) ※1回目の接種が15歳を超えた場合は3回 (2カ月以上あけて2回接種した後、1回目から6カ月以上あけて1回)

(※1) 令和6年3月31日までに接種を開始している方は、同じワクチンで接種を終えてください。
【注意】四種混合ワクチンは、生産終了に伴い接種できなくなりました。接種機会を逃してしまった方は個別に健康推進グループにご相談ください。

あつまクリニック以外で
インフルエンザや
新型コロナウイルスの
予防接種を受けた方に
接種費用を助成しています

対象者: 満1歳～12歳、65歳以上、60～64歳で障害を有する方
対象接種期間: インフルエンザ: 令和7年10月1日～令和8年1月31日
新型コロナウイルス: 令和7年10月1日以降
申請に必要な物: ①申請書 (健康推進グループ窓口またはホームページ)
②領収書 (接種の種類・接種者・接種日・接種費用がわかるもの)
③通帳等 (振込先口座が確認できるもの)
申請先: 令和8年3月23日 (月) までに健康推進グループまたは上厚真支所へ



保健の掲示板 2月

住民課 健康推進グループ ☎26-7871 (総合ケアセンターゆくり内)



健診・検診・相談・教室など

乳児健診

対 象 ①令和7年8月20日～令和7年11月25日生まれ
②令和7年2月20日～令和7年5月25日生まれ

と き 2月25日 (水) ※個別に案内

と ころ 総合ケアセンターゆくり

持ち物 母子健康手帳、バスタオル、アンケート、歯ブラシ (②のみ)

献血

と き 2月4日 (水)
9時30分～11時

と ころ 厚南会館

こころの相談

心身ともに、こんな変化はありませんか？

- ・眠れない
- ・人の視線が気になる
- ・人に会いたくない
- ・以前よりイライラする
- ・何事にも集中できない
- ・日常生活に支障が出るほどお酒を飲む など

ストレスなどからくるこころの危険信号かもしれません。
臨床心理士が、本人やご家族のこころの健康や子育ての
悩みを抱える親御さんの相談に応じます。
一人で抱え込まずに、ぜひご相談ください。

と き 1月16日 (金)、2月20日 (金)
10時～15時 (1人あたり50分程度)

と ころ 総合ケアセンターゆくり

申し込み 1週間前までに健康推進グループに
お申し込みください。



保健所の相談

問い合わせ 苫小牧保健所 ☎0144-34-4168

相 談 ・ 検 査 の 名 称	日 程
女性の健康相談 妊娠、出産、子育てなど女性の心身の相談	第1木曜日 ※休日の場合は第2木曜日
肝炎ウィルス検査・梅毒検査 感染が疑われる方は無料 (要事前確認)	月2回
骨髄バンク登録 登録の基準があります	要事前予約 (随時受付)
HTLV-1抗体検査 10日前までに予約してください	要事前予約 (随時受付)
HIV検査(エイズ相談) 無料、匿名検査 (要事前確認)	月2回
エイズ専用電話☎0144-35-7474	

2月の夜間・日曜・祝日の医療機関

内科・小児科系

苫小牧市夜間休日急病センター

住 所 苫小牧市旭町2-9-2

電 話 0144-32-0099

平 日 19時～翌朝7時

診療時間 土 曜 日 14時～翌朝7時

日曜祝日 9時～翌朝7時

外科系

診療時間: 9時～17時

日 程 病 院 名 住 所 (苫小牧市) 電話 (0144)

1日 (日) 苫小牧東部脳神経外科 北栄町2-27-27 53-5000

8日 (日) 同樹会苫小牧病院 新中野町3-9-10 36-1221

11日 (水祝) とよた腎泌尿器科クリニック 元中野町2-17-12 31-2000

15日 (日) 苫小牧日翔病院 矢代町2-9-13 72-7000

22日 (日) アーク整形外科クリニック ときわ町3-15-34 68-6111

23日 (月祝) とまこまい脳神経外科 光洋町1-12-20 75-5111


※変更になる場合があります。病院や新聞などで事前に確認してください。



北海道救急医療・広域災害情報システム

近くの医療機関などが検索できます

http://www.qq.pref.hokkaido.jp ☎0120-20-8699 ☎011-221-8699 (携帯・PHSから)



保健師・栄養士の講話や
健康維持・増進のための軽い運動、
調理実習を行います。

厚真町食生活改善推進協議会主催

冬季栄養健康教室

日 時：1回目：1月20日(火)
2回目：2月19日(木)
どちらも9時30分～13時30分

場 所：総合ケアセンターゆくり
介護実習室・調理実習室


対 象：町民の方 定 員：各20人

持ち物：エプロン、三角巾、運動靴

参加費：無料

申し込み：1月9日(金)まで


問い合わせ・申し込み 住民課 健康推進グループ ☎26-7871 (総合ケアセンターゆくり内)



ひなたさん

まちのアイドル

3歳のお子さんの写真を募集しています。
住所、氏名(ふりがな)、生年月日、性別、
両親の氏名(ふりがな)、電話番号を明記の上、
まちづくり推進課企画調整グループへ。
(メール) kikaku@town.atsuma.lg.jp



なげさん

子育て支援センター

2月のよてい

子育て講座 ポニーとあそぼう

内 容：ポニーと触れ合ったり馬ざりに乗って遊びます！

日 時：①2月12日(木)10時～11時 上厚真中央公園
②2月19日(木)10時～11時 京町グラウンド

服 装：手袋・帽子・防寒着(上下)を着用してください

申し込み：各前日まで

申し込み・問い合わせ・予約・相談

厚真子育て支援センター ☎27-2438 京町152(こども園つみきに併設)

厚南子育て支援センター ☎28-3155 上厚真258-7(宮の森こども園に併設)


※講座などの申し込みは会場となる子育て支援センターまで

地域子育て相談機関(要予約)


月曜～金曜日 15時～17時

皆さんの子育てに
親身に寄り添いサポートします。

LINEで予約



●自由開放…月曜～金曜日 9時～12時/13時～15時 ●サークル活動(予約制)…月曜～金曜日 13時～15時



いきいきサポートサロンに参加しませんか？

いきいきサポートサロンは、65歳以上の皆さんの健康増進・介護予防・生きがい活動を行う場所です。
バスの待ち合いや、ちょっと寄って知人とお話したい時など、自由に利用できます。
月間予定表を見て、参加してみたい活動等がありましたら、お気軽にお越しください。趣味のサークルで利用を希望の方もご連絡ください。また、65歳以下の方もボランティアとして共に活動しませんか？人生の先輩から知恵と技術が学べます。

2月のよてい

月	火	水	木	金
2	3	4	5	6
9	10	11	12	13
16	17	18	19	20
23	24	25	26	27

月・木 介護予防体操(10時～11時) 担当：高橋/村上/山崎
ストレッチ、有酸素運動、脳トレ

火 介護予防体操(10時～11時) 担当：板垣
がんばらない椅子ヨガなど

水 趣味の活動(13時～15時)

金 ババカフェ(10時～15時) 高齢者の皆さん主催のカフェ

厚真町いきいきサポートサロン
京町34 ☎29-7535

開放時間▶月曜～金曜日 9時30分～17時
無料水分補給カフェコーナー▶月曜～木曜日 9時30分～15時



担当
保健師 かきざき ひなみ
柿崎 瞳

健康情報

住民課 健康推進グループ ☎26-7871
(総合ケアセンターゆくり内)

今月のテーマ

感染症を予防しよう

- 感染症はどのようにかかる？**

病気の原因となるウイルスや細菌等が、直接体に害をおよぼし、さまざまな症状を引き起こすことを感染症といいます。他人のせきやくしゃみの飛沫を吸い込んだり、感染した人が触った物に触れた手で目や鼻、口を触るなどすると、粘膜から人体に入って感染します。
- 感染症対策**

次の7項目をお勧めします。

 - ①こまめな手洗いと手指消毒
食事前やトイレの後のほ
 - ②せきやくしゃみをする際は、マスクを着用して飛沫感染を予防しましょう。
 - ③マスクの着用
人混みに出かける際には、マスクを着用して飛沫感染を予防しましょう。
 - ④こまめな水分補給
喉や鼻の粘膜を潤してウイルスの侵入を防ぐため、30分に1回の水分補給を心がけましょう。
 - ⑤免疫力を高める
バランスの取れた食事、十分な休養、適度な運動(1日20～30分程度)を心がけましょう。
 - ⑥環境を整える(換気、室温・湿度の調整)
定期的に窓や扉を開け、室内の空気を入れ替えましょう。室温20～25度、湿度50～60%が目安です。
 - ⑦予防接種を受ける
感染症に対する免疫をつけ、重症化を防ぎましょう。

みんなで予防インフルエンザ

マメな手洗いと咳エチケットで「かからない」、「うつさない」。

インフルエンザをはじめとする感染対策の基本は「手洗い」「咳エチケット」「換気」です。

咳エチケット
マスク、ティッシュ・ハンカチ、そでなどで鼻と口をおおきましょう。

手洗い
指先、指の間、親指、手首は特に注意して手洗いをしましょう。

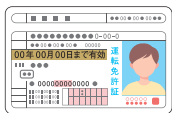
コマメに換気
寒いと、つい窓をしめっぱなしにしがちですが、ときどき窓や扉を開けて空気を入れ換えましょう。

厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

インフルエンザに関する情報
今冬 インフルエンザ
バーコード読み取り機能付き携帯電話もしくはスマートフォンでご利用になれます。

運転免許証
更新時講習

2月



苫小牧市交通安全センターで行っている運転免許証更新時講習(優良)の日程をお知らせします。この他の講習日程(一般、違反、初回)については、下記までお問い合わせください。

【10時30分～11時】

3日(火)、4日(水)、6日(金)、10日(火)
12日(木)、17日(火)、18日(水)、19日(木)
25日(水)、26日(木)、27日(金)

【13時30分～14時】

5日(木)、13日(金)、20日(金)、24日(火)

(一社)苫小牧地区交通安全協会
☎0144-33-1458

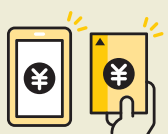
町税・保険料
今月の納期



科目	国民保険料(第4期) 後期高齢者保険料(第4期)
納期	2月2日(月)

問い合わせ
住民課 町民生活グループ☎26-7871

国税の納付は
キャッシュレス納付を
ご利用ください



国税の納付にはさまざまな方法がありますが、なかでも、下記のキャッシュレス納付は、簡単・便利に納付ができますので、ぜひご利用ください。

キャッシュレス納付を利用すれば、確定申告期等の窓口が混雑する時期に、金融機関や税務署に出向くことなく、自宅やオフィスから納付できます。

振替納税

事前に税務署または金融機関に届け出ること、振替日に預貯金口座から自動的に納付ができます。なお、一度届出を行えば継続してご利用が可能です。

クレジットカード納税

パソコン・スマホ等から、「国税クレジットカードお支払サイト」にアクセスし、必要事項を入力するだけで納付ができ、事前の届出は必要ありません。なお、納付税額に応じた決済手数料がかかります。

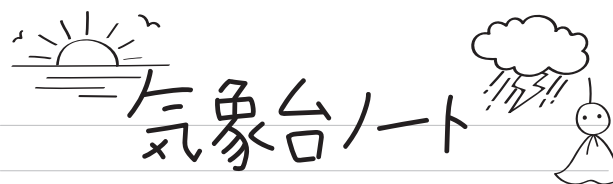
その他の納税手段

ダイレクト納付・インターネットバンキング・スマホアプリ納付など、ご自身に合った納付手段を選択できます。



詳しくはホームページを
ご確認ください

問い合わせ
苫小牧税務署
☎0144-32-3165



北海道・三陸沖後発地震注意情報

「北海道・三陸沖後発地震注意情報」は、日本海溝・千島海溝沿いの想定震源域やその周辺でマグニチュード7.0以上の地震が発生した後、続いて巨大地震(後発地震)が発生する可能性が平常時より相対的に高まっている際に発表される情報です。また、巨大地震の発生可能性が平常時より相対的に高まっていると言っても、特定の期間中に巨大地震が必ず発生するということをお知らせするものではありません。

このような背景があるものの情報を発表するのは、比較的大きな地震が発生した後に、その周辺で巨大地震が発生している事例が知られ、たとえ不確実性が高くとも警戒レベルを上げ被害軽減を

図り、地震への日ごろの備えと準備を呼びかけ、より多くの人命を守る取り組みです。

情報が発表されたら、1週間程度は社会経済活動を継続しつつ、日ごろの備えの再確認と、すぐに避難できる準備をしましょう。



「北海道・三陸沖後発地震注意情報」
普及啓発用動画 (YouTube)

問い合わせ 室蘭地方気象台 ☎0143-22-4249

令和8年度
胆振東部消防組合 消防職員募集

■募集職種

消防職員(深夜業務を含む交代制勤務)

■募集人員 2人

■採用予定日 4月1日

■勤務地 胆振東部消防組合管内(安平町、厚真町、むかわ町)

■受験資格

①高等学校卒業以上(大卒、短大卒、専門学校卒を含む)で平成9年4月2日以降に生まれた方

②普通自動車運転免許(AT限定不可)を有する方、または採用予定日までに取得できる方で、採用後、勤務署所在地に居住可能な方

③消防職員として、職務遂行に必要な体格・体力を有し健康である方
※次のいずれかに該当する人は受験できません。

・日本の国籍を有しない方

・禁錮以上の刑に処せられその執行を終わるまで、または、その執行を受けることがなくなるまでの方

・当該地方公共団体において懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない方
・日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法、または、その下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、または、これに加入した方

■試験の方法

[第1次試験]教養試験、作文試験(大卒は論文)、適性検査

[第2次試験]第1次試験合格者に面接試験を実施(健康診断書提出)

■試験日・会場・合格発表

[第1次試験]

期日: 2月1日(日)

会場: 胆振東部消防組合消防本部

合格発表: 受験者へ2月中旬に可否を通知予定

[第2次試験]第1次試験合格者に期日、会場等を通知

■提出書類等

①受験申込書(最近6カ月以内に無帽の上半身を写したもので、本人である

と確認できる縦4cm・横3cmの写真を貼ること)
②エントリーシート(自筆で記入、①と同様に写真を貼ること)
※胆振東部消防組合消防本部総務課に直接請求するか、ホームページからダウンロードしてください。

③卒業証明書(卒業見込み証明書)

④学業成績証明書(最終学校のもの)

⑤自動車運転免許証の写し(取得者)

⑥受験票送付用封筒(長形3号封筒に住所・氏名を記入し110円切手を貼付)

■受付期間

1月16日(金)まで

■受付期間

持参: 土曜・日曜、祝日を除く8時30分～17時15分

郵送: 1月16日(金)の消印有効

■受付・問い合わせ

胆振東部消防組合消防本部総務課
〒059-1604 厚真町錦町47番地2
☎26-7100

<http://iburi119.sakura.ne.jp/>

北方領土の日 特別啓発期間について

我が国固有の領土である歯舞群島^{はぼまい}、色丹島^{しこたん}、国後島^{くなしり}および択捉島^{えとろふ}からなる北方四島の早期返還の実現は、道民はもとより国民の長年にわたる悲願です。

しかし、ロシアによるウクライナ侵略によって日露関係は厳しく、平和条約交渉や北方領土四島交流事業

など、今後の見通しは厳しい状況が続いています。北海道では、毎年2月7日の「北方領土の日」を中心に1月21日から2月20日までを「北方領土の日 特別啓発期間」と定め、重点的に北方領土返還要求の啓発活動を行っています。

こぶしの湯 あつま
イベントカレンダー 2月

問い合わせ こぶしの湯あつま ☎26-7126

日	月	火	水	木	金	土
1 ちびっこ	2 [3倍]	3 メンズ	4 高齢者券	5 レディース	6 [3倍]	7
8 ちびっこ	9 シルバー	10 メンズ	11 高齢者券	12 [3倍] レディース	13 [2倍]	14
15 ちびっこ	16 [3倍]	17 メンズ	18 高齢者券	19 レディース	20	21
22 [3倍] ちびっこ	23 シルバー	24 メンズ	25 [2倍] 高齢者券	26 [3倍] 風呂の日	27 [2倍]	28

毎週日曜 ちびっこデー▷小学生はスタンプ2個

毎週月曜 シルバーデー▷65歳以上はポイント3倍

毎週火曜 メンズデー▷男性はスタンプ2個

毎週水曜 高齢者無料入浴券の日▷町交付の無料券利用でレストランのヘルシーセットが890円→700円

毎週木曜 レディースデー▷女性はスタンプ2個

毎月26日 風呂の日▷町民は入浴無料(要身分証明書)
※対象外の方はポイント3倍、スタンプ2個

2と6のつく日▷ポイント3倍(風呂の日を除く)

5のつく日▷町交付の無料券利用でポイント5倍

※イベントは予告なく変更することがあります。



二十歳のつどいの実行委員
なかじま らまと
Vol.69 中島 藍音さん

厚真中学校を卒業後、理工学の専門家を目指して札幌市内で一人暮らしを続けています。級友との深い絆が、今も健在です。「皆との再会がとても楽しみです」。二十歳のつどいの実行委員で、当日「二十歳の主張」を行う公立千歳科学技術大学1年、中島藍音さんに一時帰省した町内で話を聞きました。

感謝を胸に秘めマチを支えたい

両親たちが付けてくれた名前
に誇りを感じています。聞くと、
音の響きや言葉の意味を辞書で
調べ、最終的にアイヌ語辞典か
ら「らまと」に決めたそうです。
アイヌ民族とは縁はありません
が、アイヌ語で「魂」や「命」
の意味がある「ラマツ」が語源
です。「人を重んじて会話を大
切にしています。改めて、両親
に感謝ですね」と、白い歯をこ
ぼしました。家庭はもちろん、
友人や地域住民とのコミュニ
ケーションを大事にしながら、
自己研鑽を続けています。

では、厚真中学校の体育館で約
2カ月の避難所生活を余儀なく
されましたが、仲間との「語ら
いの場」が、難局を乗り切る「励
みの場」になりました。実家に
帰省すると、自然と足が向かい
ます。

大学では、半導体について学
んでいます。明確な将来の進路
はまだ決まっていませんが、光
半導体分野を研究したいと考
えています。「リビダスの工場が
隣にあるので、社員の方と話す
機会が増えるたびに興味が湧い
てくるのです」。町外での就職
先を考えていて、外から厚真を
見守っていききたいと思っています。

中島さんにとって、厚真は心
のより所であり自分を育ててく
れたまちです。

「家族や仲間、恩師…。皆さ
んに感謝の気持ちを伝え、成長
しながら、まちに恩返ししたい」